DIRECTOR'S VIEW

自主映像作家アンケート特集　－第３回－

●今回は仙台出身で映画監督として活躍中の、常本琢招監督の登場です。

ふりがな	つねもと　たくあき	生 1963年
氏名	常本　琢招	出身 仙台市

○プロフィール
・１９６３生まれ
小さい頃から映画に親しみ
２１歳ではじめて８ﾐﾘを撮った。
それがぴあフィルムフェスティバルで
入選したので映画界に入る気になる。
中村幻児プロ、フィルムキッズと移り
１９９０年監督デビュー。
その後はＶシネマ中心にほそぼそと
やっとります。

△「いたずらロリータ」より

Q：あなたが初めて映画を作ったのはいくつの時で、それはどんな作品でしたか？
A：２１歳。まわりにいた高校生をつかい、自分の好きな映画のｺﾗｰｼｭのようなもの(にっぽにーず・がーる)

Q：なぜその作品(題材)を作ることにしたのですか。
A：忘れた。

Q：次回作についてお聞かせ下さい
A：そんなものはない！　映画は制作がスタートしてはじめて次回作といえるのだ

Q：映画作りへと導かれた経緯をお聞かせ下さい。
A：①幼少時よりの環境
②他にやりたい仕事がなかった。

Q：制作上での失敗談をお聞かせください。
A：たくさんありすぎる。
そして、そんなものは忘れるにかぎる。

Q：あなたに映画製作者としての下地があったとすれば、それは何だったと思いますか？
A：監督（演出家）としての才能

Q：制作の原動力になっているものはなんですか？
A：①俳優への奉仕精神(好きな役者さんに輝いてもらいたい)
②金が欲しい。

Q：制作で障害になっているものは何ですか？
A：・有能なシナリオライターの少なさ
・使える題材の絶対的不足

Q：あなたにとって映画とは何ですか？
A：仕事&娯楽。

Q：好きな劇映画を10本あげて下さい。
A：
・黄金のパートナー
・江分利満氏の優雅な生活
・青春の蹉跌
・乱れ雲
・兄貴の恋人
・炎のごとく
・夕日のｷｬﾝﾃﾞﾗたち
・ｼｮｰﾍﾝ・ﾗｲﾀｰ
・ｸﾞｯﾄﾞﾌｪﾛｰｽﾞ
・ﾄﾘｭﾌｫｰの恋愛日記

Q：あなたが作品を作るとき常に心掛けているものを一つあげて下さい。
A：とにかく考え抜くこと

○代表作

にっぽにーず・がーる

出演◆中森裕美・桜井順子
１９８４年／仙台／60分

・85年の「ぴあﾌｨﾙﾑﾌｪｽﾃｨﾊﾞﾙ」に入選の常本監督の処女作品。　行方不明の彼氏をさがして、少女たちが（登場人物全員が）くるったみたいに走り回る映画。
監督以外はスタッフ・キャストのほとんどが現役の高校生だったこともあり、フレームに収まりきれないパワーのあふれる作品。　全編にちりばめられた映画へのオマージュ・映画的センスが、全国各地で公表を呼んだ魅力的な８ﾐﾘ作品。

○主なﾌｨﾙﾓｸﾞﾗﾌｨｰ

・にっぽにーず・がーる	８４'	（監督）
・女高生有希子の日記	８５'	（監督）
・ﾌｼﾞﾆｳ騎兵隊だっ	８７'	（監督）
・制服本番おしえて！	９０'	（監督）
・成田ｱｷﾗのﾃﾚｸﾗ家業	９３'	（監督）
・人妻玲子調教の軌跡	９５'	（監督）
・いたずらロリータ	９５'	（監督）
・黒い下着の女教師	９５'	（監督）
・投稿写真白書	９６'	（監督）
・健康師ダン	９６'	（監督）
・新任女医淫らな診察室	９７'	（監督）

☆雑誌などでとりあげられたり、新作の企画が進行中だったりとお忙しい常本監督でした。

エンドマークへの道

○このコーナーは
「自分を映画に使ってほしい」とか、
「自分の作る映画を手伝ってほしい」
といった方のための伝言板です。

－たとえば・・・－

例）☆造形おてつだい募集！
・NIKS FILM では新作映画「だれもしらない物語(仮)」に使用するｻｲﾎﾞｰ特殊ﾒｲｸ の制作を手伝って下さる方を募集中です。例のおれも出来ませんが、興味のある方は
〒[redacted] 岸浪まで

例２）☆映画出演希望！
・映像に興味のある２０才の女性です。１度映画に出演してみたいと思っています。どんな小さな役でもいいので、ご連絡ください。
おくづけ住所留め　遠藤久美子

といった具合です。基本的には１８才以上の方で、住所氏名を明記に掲載できる方が望ましいです。
(当局によってはおくづけNG・掲載時お知らせ)
ご了承ください

おくづけ住所までご応募下さい。

98年 これからのイベント情報

●次回は、これらの情報も含めて、様々な「インディーズムービー」についての情報を、詳しく紹介させて頂く予定です。

○毎年恒例となった「ユースシネマフォーラム」が９月に開催されます。　昨年「鉄塔武蔵野線」や、「白い月」「ひみつの花園」などの話題作を上映したあの企画です。詳しくは、仙台ＭＡＰのフリーペーパーを！

○市内の大学や、サークル等の合同上映会「ＦＦ」が、今年１２月、エルパークにて開催される予定です。

○映像作家の渡辺一郎監督の個人上映会が、年末か、９９年始めに行われる模様です。

BACK WORDS

通巻３２号

この情報誌はエルパーク情報ステーション（１４１・５Ｆ）その他、各所のご好意によりスペースを頂いて無料配布しております。また、上映会や、スタッフ募集等の情報をお持ちの方は右の住所までご連絡下さい。皆様のご意見等をお待ちしております。　★次号は７月15日発行

発行／仙台シネアスト

きしなみきよふみ
☎[redacted]
編集責任／岸浪清史・斎藤拓生